

年報

平成 29 年度

徳島県立図書館

ま え が き

少子高齢化が進み、人々の価値観が多様化する中、県立図書館は県下の中核図書館として、幅広い分野の図書や資料を収集し、県民の皆様の様々な知的欲求や調査・研究に応じることができるよう取り組んでいます。

昨年度は、「とくしまネットワーク図書館」システムを更新し、蔵書検索・予約機能の充実、利用者の利便性の向上を図るとともに県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化を図りました。また、百周年を迎える県立図書館が、新たな百年に向けて一步先の未来の図書館を目指して県民の民様の読書、仕事と暮らし、知的探求をしっかりと応援する「知の拠点」としての機能強化のあり方について検討するため、若手で構成するタスクフォースを組織しました。そして、「子どもの図書館機能の強化」、「電子図書館サービスの導入」について検討を行い、資料充実の方向性として「基本図書を超える他館にない本の最優先」や「中高生向けにライトノベルの復活」など貴重な提言をいただきました。

また、平成29年3月には、徳島大学、鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による「図書館活動の連携協力に関する協定」を締結し、今まで以上に連携協力事業を充実させ、県民の皆様の読書推進活動の支援や教育、文化の発展を図って参ります。

さらには、県民の皆様の読書活動の推進に関し、基本理念を定め、及び県の責務を明らかにするとともに、読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、県民の皆様の読書活動を推進し、もって県民一人一人の心豊かな生活と活力ある社会の実現に資することを目的に、平成29年3月に「徳島県読書活動の推進に関する条例」が公布されました。

この機会に改めて、図書館の役割や人生を豊かにする上での読書の有用性などを広く県民の皆様を知っていただきたいと考えています。

当館は、平成29年度に開館百周年を迎えます。百年を振り返ることはもとより、新たな百年に向け「一步先の未来の図書館」として、「読書習慣を育む子どもの図書館」、「デジタル技術を活用した知的探求を応援する図書館」、「市町村立・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」、「専門性の強化」を目指して百周年記念事業を実施して参ります。

今年度はこれら新たな点にも取り組みつつ、徳島県の図書館ネットワークの中核として、県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、本冊子をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

徳島県立図書館長 町田豊治

目 次

I	運営の基本方針	1
	平成29年度重点事業	1
II	平成29年度事業計画	2
	平成29年度図書館費予算（当初）の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	平成28年度事業報告	14
1	企画振興課関係	14
2	調査相談課関係	15
3	資料課関係	17
4	図書館システム関係業務	19
5	他機関との連携事業ほか	19
6	諸統計	24
IV	管理	26
1	組織機構・職員	26
2	施設・設備	27
3	沿革	28
4	歴代館長	29
V	平成28年度行事記録	30
	データで見る徳島県立図書館の現状	35
	徳島県内市町村立図書館一覧	36
	徳島県立図書館案内図	37
	開館時間・休館日	37
	付録：「徳島県立図書館サービス向上目標（第3期） ～県立図書館サービスの新たな展開～」	1～6

I 運営の基本方針

- (1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- (2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

平成29年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、行動指針「一人でも多くの人へ“図書館サービス”の提供を」のもと事業を進め、図書館100周年「知の拠点」事業に取り組む。

- (1) 図書館100周年「知の拠点」事業の実施
 - ・「読書習慣をはぐくむ子どもの図書館」「デジタル機器を活用した知的欲求を応援する図書館」「市町村立・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」「専門性の強化」を目指し、記念事業を実施する。
- (2) 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備
 - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
 - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の資料センター的機能の充実
 - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実、地域資料のデジタル化
- (3) 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
 - ・読書バリアフリーに必要な資料や機器、サービスの整備・充実
 - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 平成29年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
企画振興課 (企画振興担当)	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 5月中旬、 研修会 年 3 回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学術調査及び研究を行い、文化の推進及び地域貢献に寄与する。	三好市	8月調査	16学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調査 相談 談 話 課 (調 査 担 当)	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物(新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等)を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	寄贈逐次刊行物の整理	官公庁、団体等から寄贈された逐次刊行物を整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物を分類・整理し、保存する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用につとめる。	一 般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらう。最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書の収集、整備に努め、利用に供する。	一 般 図 書 館	年 間	出版情報誌等により、選書、収集する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	オンラインデータベースを活用し、高度な調査研究に応える。	一 般	年 間	契約データベースの閲覧専用端末を設置。可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
	レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(調査担当)	検索コーナーの管理・運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・デジタル画像閲覧端末を設置し、各種コンテンツを提供する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調査相談課 (郷土担当)	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	マイクロフィルム・デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	デジタルライブラリ画像閲覧システムやマイクロリーダープリンターによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報を、マイクロフィルム化して整理保存する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料課 (資料担当)	資料の収集と整理	一般貸出資料の選択・収集・整理を行う。	一 般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れを行う。
	資料の配架と保存	開架図書の利用を促進し、書庫内資料の出納を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫の資料を適正に配架する。
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネットで予約を受け処理する。
	視聴覚資料の収集と整理	C Dの収集・整理を行う。	一 般	年 間	C Dブックを収集し、貸し出しする。（音楽C Dは寄贈のみ収集）
	障がい者及び高齢者用資料の収集と整理	障がい者や高齢者のための資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やD A I S Yを収集・整理し、貸し出しを行う。また、据置型・携帯型拡大読書器、活字自動読み上げ機、プレクストークを設置している。
	対 面 朗 読	目の不自由な方に、資料を朗読する。	目の不自由な方等	年 間	来館のうえ、対面朗読協力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障がいのため、来館が困難な利用者に、郵送による貸し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、文書等で申し込みを受け付け、図書館資料を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない利用者に対して督促通知を行い、資料の効率的運用を図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知を行う。
	ベストセラー寄贈事業	予約者が多いベストセラー本の寄贈をお願いし、予約待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館内にリストを掲示し、寄贈していただく。
	貸出、利用者登録	資料の貸し出しと貸出利用者を登録する。	一 般	年 間	貸し出しは、県内在住者、在勤者、在学者に対して10冊22日間（貸出日を含む）。

課	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
	図書の展示	テーマにそった一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
資 料 課 (児 童 担 当)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを収集整理する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れ、保存を行う
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者(機関)、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般、図 書 館、関 係 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援 学校図書 館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの 読書活動 推進関係 者、 図 書 館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらふ。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う。(月 2 回はボランティアによる)
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介すると共に、こどもの本コーナーの広報をする。	0 歳 ～ 中 学 生、 一 般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0 歳 ～ 中 学 生、 一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
そ の 他	とくしまネットワーク図書館システム等の管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。		年 間	マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの更新作業などを行う。

平成29年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	平成29年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	44,422	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
図書館資料充実費	37,155	一般図書購入費 児童図書購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	475	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,102	コンピュータ関係経費 (第6・7期図書館システム修繕関連経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	843	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	1,852	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	88,849	

*別途、図書館100周年「知の拠点」事業 11,312（千円）

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

＜郷土資料の収集＞

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

＜参考資料の収集＞

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞 典 | 7 年 表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書 誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索 引 |
| 5 便 覧（ハンドブック） | 11 抄 録 |
| 6 図 鑑 | 12 統計書 |

＜児童資料の収集＞

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

＜視聴覚資料の収集＞

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

＜新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集＞

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

＜マイクロフィルムの収集＞

徳島県に関連するものを収集する。

＜特別集書の収集＞

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。
 - (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
 - (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
 - (3) 個人著者等が徳島出身の資料
 - (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
 - (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
 - (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌広報、リーフレット
 - (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
 - (8) 徳島で発行される同人雑誌
 - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
 - (10) タウン誌、ミニコミ紙
 - (11) 観光パンフレット、イベントちらし
 - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
 - (13) 徳島の地図類
 - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (1) 児童図書
 - (2) 紙芝居
 - (3) ヤングアダルト向きの図書
 - (4) 児童対象の録音図書など（CD）
 - (5) 児童向きの逐次刊行物
2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
3. 収集の制限
原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。
 - (1) 形態
 - ・散逸しやすいもの
 - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・著しく耐久性に欠けるもの
 - (2) 内容
 - ・受験用参考書、問題集
 - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 平成28年度事業報告

1 企画振興課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を 12月13日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行った。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 229 日 延べ配送日数 78 日

(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 17,575 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 1,707 冊

- ② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 27 館、図書館未設置町 5 町

- ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 22 校 協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 2,197 冊

- ④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1 病院 貸出冊数 1,200 冊

- ⑤ 団体貸出の実施（職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。）

利用団体数 8 団体 貸出冊数 512 冊

- ⑥ 読書会文庫の貸出（1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。）

利用団体数 13 団体 貸出冊数 1,220 冊

- ⑦ 「まなびの森」講演会（生涯学習支援事業）を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 8 講演 参加人数 365 名

- ⑧ 総合学術調査を鳴門市において、平成28年4月29日から5月8日まで実施した。

- ⑨ 実務担当者会を開催し、協力通信 No.237～242を発行した。

■ 協力車等の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎：協力車等巡回配送対象市町村立図書館（19館…自治体内の中心館に巡回）

□：協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、324,183冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌507タイトル（購入287：うち30は雑誌スポンサー制度、寄贈220）、新聞51種（購入32、寄贈19）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

- ① 資料購入費（備品費）2,290,693円で、年鑑、白書等244点を購入した。
- ② 資料購入費（需用費）5,145,295円で、雑誌3,514冊、新聞32種、官報を購入した。
- ③ 寄贈資料は2,727冊を受け入れた。寄贈新聞は19種であった。
- ④ 製本費142,560円で、官報60冊の製本を行った。

- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・目録・所蔵新聞目録 2016 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として雑誌スポンサー事業を実施し、14 団体より30 誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示をブラウジングコーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、48,485 枚（白黒 46,380 枚、カラー 2,105 枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 3,424,596 円で 参考図書 304 冊、121,908 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を 31冊 購入した。
寄贈資料は、参考図書 167 冊、特別集書 18冊であった。
- ② 参考資料数は 66,530 点であり、そのうち参考資料コーナーには 23,694 冊を開架した。特別集書数は 6,686 冊で特別集書コーナーに 4,272 冊を開架した。
- ③ 参考質問件数は 11,386 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 1,409 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 66 件、県議会・行政機関からの参考質問は 32 件）、所蔵検索等の資料案内件数が 9,977 件であった。
- ④ 資料の探し方についての〈調べものナビ〉「調-14」「調-15」を作成し、館内で配布した。
- ⑤ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 193 件 248 冊、他館への貸し出しが 800 件 1,225 冊で、合計 993 件 1,473 冊であった。（協力車による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等のオンライン・データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 2,960 枚（白黒 2,912 枚、カラー 48 枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末 2 台の利用は 201 件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑨ 「6次産業化の本」展をはじめ、ビジネス支援や健康応援に関するミニ展示を計 8 回行った。
- ⑩ 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,449,906 円で、図書 691 冊、CD 13 枚、DVD 3枚を購入した。
- ② 209,520 円で新聞等のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版PDF変換済データ1式を購入した。
- ③ 委託料 36,450 円で貴重資料 2 点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費（需用費）90,520円で、逐次刊行物 5 タイトル 110 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ⑤ 寄贈図書585 冊、寄贈逐次刊行物 2,136 冊、その他の寄贈資料 21点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 194,832円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、60,264円で18冊の修理製本を行った。

- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 494 人、複写9,849 枚であった。
- ⑧ 研究室1：70 件 74人、研究室2：1 件1人、撮影室：11件11人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版PDF ファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ Web上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ⑪ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第4号の改訂を行い、館内配布した。
- ⑫ 「災害に備える」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計7回行った。また、徳島大学附属図書館との共催展示 『第26回徳島大学附属図書館学術講演会 板東俘虜収容所「第九」百年の国際交流―ドイツ俘虜たちとベートーヴェン』を開催した。

3 資料課関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 17,788,271 円で、一般資料コーナー用図書8,722 冊 17,252,578 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 91 点535,693 円（一般用CD 75 タイトル、DAISY 16 タイトル）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料2,121 冊を受け入れ、整理した。
- ③ 平成28年度末の一般資料数は 732,581 冊（視聴覚資料含む）である。一般資料コーナーに約 21 万冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（24、25ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 15,678 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 869 冊、一般用視聴覚資料207 点、DAISY 30 枚であった。閲覧室には活字による読書が難しい人のためにデージー、マルチメディアデージーを利用できる専用端末、プレクストークを設置している。また、据置型拡大読書器も設置し、読書環境を整えている。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 「セカンドライフ応援コーナー」において、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、チラシ・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑨ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、17 冊の寄贈を受けた。
- ⑩ 平成28年11月27日（日）にあわぎんホールで開催された「障がいのある人もない人もみんなで集おうハートフルフェスタ」（徳島県障がい福祉課）に『徳島県立図書館障がい者サービスのご案内』を展示しPRした。
- ⑪ ミニ展示を、一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計11回行い、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

- ① 資料購入費（備品費） 3,924,562 円で、児童関係図書 2,436 冊、洋書8冊、紙芝居54巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費（需用費）は 258,390円で、新聞を毎月4種類、雑誌を38種387冊を購入した。
- ② 寄贈資料として図書1,108冊、洋書114冊、マルチメディアデージー4点、CD3点、紙芝居48巻、雑誌61冊を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約 50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約 3,500 冊を開架図書として配置した。
コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。
また、子育てに関する図書約 800 冊と雑誌 10 誌、赤ちゃん絵本約 300 冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。
- ④ 貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、3,395件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校9校 延べ6回行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品131点を貸し出した。
- ⑧ 子どもの本コーナー紙芝居架上で、月ごとにテーマを決めて資料展示を行った。また、折に触れてミニ展示をのべ23回行った。さらに、県立図書館100周年記念行事の一環として、国際児童図書評議会（IBBY）障害児図書資料センターが所蔵する、世界21か国から選書された2015年度のコレクション50冊余を展示した。

世界のバリアフリー絵本展 会期 平成29年1月5日（木）～14日（土）

会場 2階 ブラウジングコーナー前

⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事

○「初めての方のための読み聞かせ講座」 6月12日 参加者：18名

講師：渡邊美恵（絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ）

初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについての講義とワークショップを開催した。

○アーサー・ビナード氏講演会 9月4日 参加者：82名

講師：アーサー・ビナード氏（詩人・絵本作家・翻訳家）

県立図書館おはなし会ボランティアへの研修の一環を兼ねて、ミシガン州生まれの詩人・絵本作家であるアーサー・ビナード氏に絵本について講演してもらった。自身が幼い頃に受けた両親からの読み語りや少年期によく読んだ絵本「ダンデライオン」を翻訳するに当たっての苦労や改めて気づかされたことなどを中心に、読むことの喜びを熱演してくれた。講演会会場には、アーサー・ビナード氏関連資料として、著作、翻訳本、寄稿やインタビューが掲載された雑誌などを展示した。

○ 行事

赤ちゃんと楽しむおはなし会（毎月第2木曜日） 年間12回 参加者：延べ 331名

おはなし会（毎月第2・4日曜日） 年間26回 参加者：延べ 476名

赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう！」を毎奇数月に開催した。また、図書館探検隊、県職員による夏休み出前講座、親子で楽しむクリスマスおはなし会、文化の森連携事業「おはなし会」・「“しおり”を作ろう！」を開催した。

⑩ 広報

「こどもの本コーナーりようあんない」を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回「こどもの本コーナーだより」を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された6名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの更改作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員端末用ネットワークシステムの運用作業も行った。

(3) システム担当者会（随時）

文化の森5館の担当者の会議に出席。業務システム及び文化の森情報システムの運用のための各種作業、各館の情報交換についての作業を行った。

(4) 「とくしまネットワーク図書館」システムの更新

平成29年2月10日よりとくしまネットワーク図書館システムを新システムに切り替えた。

5 他機関との連携事業ほか

(1) 課題解決サービス

○健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会小松島支部主催の〈夏の健康講座〉に合わせ、薬剤師選定の健康・医学関係図書を一般資料コーナーに展示した。また、県医療政策課の〈臓器移植普及啓発展〉に合わせて、臓器移植コーディネーターと連携し、関係資料の展示を一般資料コーナーで行った。

徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成20年9月末より図書館1階で月2回実施し、平成28年度は433名が利用、64件の疾患や健康についての相談が寄せられた。

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回実施し、平成28年度は81件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

10月～11月には「全国糖尿病週間」にあわせて「ストップ！糖尿病」のミニ展示を行い、関係団体から提供を受けた啓発パンフレットを来館者に配布した。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

○しごと応援コーナーの充実

仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、平成28年度は、217点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などをも置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

(2) 行政支援

○議会事務局（図書室）との連携

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

○県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。平成28年度は、43件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する7件のチラシを配布した。

また、7月22日に県水・環境課の出前講座『よごれた水のゆくえ』を開催し、7月12日～22日まで3階ロビーでパネル展示を行った。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。（別表）

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で5月5日に「食べる！文化の森こどもの日フェスティバル」、8月21日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 大秋祭り」を実施し、図書館では『おはなし会』『図書館探検隊』『おとなのための図書館ツアー』『しおりをつくろう』などを開催した。

また、2月11日に「文化の森ウィンターフェスティバル」において、県立図書館100周年記念書道パフォーマンスを開催した。

(5) 大学図書館との連携

○鳴門教育大学附属図書館

平成28年3月23日に締結した「徳島県立図書館と鳴門教育大学附属図書館との連携協力に関する覚書」に基づき、8月から、利用者のリクエストに応じるための資料の相互貸借を開始した。平成28年度は、貸出31冊、借り受け6冊だった。

○徳島大学附属図書館

連携企画展として、徳島大学が作成した推薦図書リストを基とした「徳島読書人が選ぶ最高の31冊」展（6月7日～7月3日）を県立図書館1階ギャラリーにおいて行った。

また、県立図書館で行った企画展「＜本＞のいろいろ」（10月4日～11月27日）のパネルデー

タを徳島大学附属図書館へ提供し、それを基とした展示が徳島大学附属図書館本館資料展示室にて12月13日～1月31日の期間に行われた。

徳島大学附属図書館との共催展示 『第26回徳島大学附属図書館学術講演会 板東俘虜収容所「第九」百年の国際交流—ドイツ俘虜たちとベートーヴェン』を開催した。

また、平成29年3月28日に、徳島大学、鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動の連携協力に関する協定を締結した。

◆ 平成28年度刊行物

- | | | |
|-----------------|----------|--------------------|
| ①平成28年度 年報 | 350 冊 | (H28. 6. 1 発行) |
| ②平成29年度図書館カレンダー | 30,000 枚 | (H29. 2. 1 発行) |
| ③阿波学会紀要 第61号 | 300冊 | (H29. 3. 1 : 阿波学会) |

講師の派遣

期 日	会 場	講座内容等	派 遣 職 員	参加者
6 月 3 日	鳴門市立図書館	レファレンスについて	松原美和	15
6 月 29 日	県立図書館	徳島新聞N I E推進室・職場体験	山口洋子・立石忠徳・高橋律子	3
8 月 4 日	県立図書館	四国大学生 見学 「図書館サービス概論」受講生	山口洋子・水上英俊	15
8 月 5 日	県立図書館	名西郡小学校図書館部会 (夏期研修会)	立石忠徳	10
8 月 10 日	県立図書館	徳島市・名東郡小学校図書館教育部会 (夏期研修会)	立石忠徳・小松真幸	40
8 月 17 日 ～19 日	県立図書館	教職員初任者研修 「館内整理作業・レファレンス 業務・調べ学習の実習」	高尾 博・鞆谷純一 山本みち・鎌田梨奈 田村加代・高橋律子 立石忠徳	5
8 月 26 日	県立図書館	高等学校図書委員研修会	立石忠徳	80
9 月 26 日	徳島市応神小学校	図書室の改修等の助言	小松真幸	1
10 月 5 日	徳島県立障がい者 交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	山本みち・鎌田梨奈	12
10 月 5 日	県立図書館	徳島新聞N I E推進室・職場体験	山口洋子・立石忠徳・高橋律子	3
11 月 29 日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	鎌田梨奈	4
1 月 6 日	鳴門市立図書館	図書館における選書について	山本みち・立石忠徳	24
1 月 21 日	北島町立図書館・ 創世ホール	初めてのの方のための読み聞かせ講座	立石忠徳・小松真幸	21
3 月 9 日	阿波市立阿波図書館	「調べる学習」研修会	小松真幸・中本好彦	14

インターンシップ

	学 校 名	日 時	参加者	内 容
1	城西高等学校	10月25日～26日	2	・児童サービス、レファレンスサービス、情報支援担当業務の説明・実習 ・図書を受入、整理 ・郷土コーナーの説明、広報紙等納本チェック、資料受入等
2	新野高等学校	11月9日～10日	3	

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	板野西小学校 3年～5年	5月10日	館内見学・自由閲覧	65
2	黒崎小学校 1年～5年	5月13日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	130
3	上八万小学校 2年	5月20日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	47
4	川内北小学校 2年	5月27日	館内見学・自由閲覧	119
5	鳴教大学附属支援学校 小3～4	6月9日	おはなし会・自由閲覧	9
6	八万南小学校 2年	9月28日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	106
7	佐那河内小学校 1、2年	10月14日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	22
8	西麻植小学校 4、5年	10月21日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	28
9	津田小学校 2年	10月26日	館内見学・おはなし会・質問・自由閲覧	108
10	鳴門第一小学校 5年	10月28日	館内見学・自由閲覧	64
11	高原小学校 2年	11月4日	館内見学・おはなし会・質問・自由閲覧	30
12	助任小学校 2年	11月11日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	154
13	神領小学校 2年	1月20日	館内見学・おはなし会・自由閲覧	6

参考：図書館資料充実費内訳（製本費等を除く）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
○ 調査相談課					
(1)	逐次刊行物	7,151,703	7,519,358	7,406,095	7,435,988
	資料購入（備品費）費用	2,062,584	2,299,742	2,241,236	2,290,693
	点数	245	239	264	244
	資料購入（需用費）費用	5,089,119	5,219,616	5,164,859	5,145,295
	雑誌種数	289	293	292	287
	新聞紙数	34	32	32	32
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料（備品費）	3,438,578	2,553,970	3,365,040	3,546,504
	参考図書費用	3,069,635	2,512,518	3,273,379	3,424,596
	冊数	297	232	319	304
	特別集書費用	69,568	41,452	91,661	121,908
	冊数	23	12	25	31
(3)	郷土資料	1,390,546	1,730,116	1,539,544	1,449,906
	資料購入（備品費）費用	1,301,466	1,633,860	1,449,880	1,359,386
	図書冊数	616	599	592	691
	CD等点数	20	11	15	16
	資料購入（需用費）費用	89,080	96,256	89,664	90,520
	雑誌種数	5	6	5	5
	新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料課					
(1)	貸出用図書（備品費）	18,564,713	18,312,754	17,804,955	17,788,271
	一般資料図書購入費	18,034,213	17,900,286	17,292,568	17,252,578
	冊数	10,031	9,295	8,680	8,722
	視聴覚資料購入費	440,500	412,468	512,387	535,693
	点数	28	70	42	91
	点字図書分室用資料費	90,000	—	—	—
	点数	23	—	—	—
(2)	児童関係資料	3,885,977	4,473,216	4,397,249	4,182,952
	資料購入（備品費）費用	3,633,893	4,199,668	4,138,859	3,924,562
	児童図書冊数	2,559	2,866	2,602	2,444
	紙芝居巻数	49	62	55	54
	CD等点数	1	0	1	0
	資料購入（需用費）費用	252,084	273,548	258,390	258,390
	雑誌種数	37	38	38	38
	新聞紙数	4	4	4	4
(3)	団体貸出用購入費	—	—	1,854,778	1,846,023
	点数	—	—	164	204
	図書資料購入費合計	34,431,517	34,589,414	36,367,661	36,249,644
	図書購入費（備品費）	29,001,234	28,999,994	30,854,748	30,755,439

6 諸 統 計

○現有図書資料（平成29年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こども	計	前年度末現在
0：総 記	117,231	2,341	6,917	126,489	124,028
1：哲 学	59,188	4,271	1,833	65,292	64,619
2：歴 史	115,459	7,257	6,925	129,641	127,751
3：社会科学	302,059	12,107	10,277	324,443	319,250
4：自然科学	99,356	8,292	13,385	121,033	119,190
5：技 術	131,072	5,082	5,544	141,698	139,413
6：産 業	80,689	2,492	2,527	85,708	84,282
7：芸 術	129,598	7,376	16,172	153,146	150,446
8：言 語	23,413	1,480	2,337	27,230	27,042
9：文 学	223,549	63,078	47,626	334,253	332,776
童 話	7	5,084	14,223	19,314	19,792
絵 本	109	4,180	70,162	74,451	74,457
そ の 他	58,949	368	4,192	63,509	63,316
計（冊）	1,340,679	123,408	202,120	1,666,207	1,646,362

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	3,687 人
28年度末有効登録者数	*154,176 人
団 体 貸 出（団体）	8 団体
読 書 会 文 庫（団体）	13 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○図書貸出冊数（平成28年度）〈単位：冊〉

区 分		冊 数
個人貸出	図書	525,539
	洋書	1,640
	視聴覚資料	17,942
	逐次刊行物	37,104
	その他	4,123
	小 計	586,348
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	19,282
	県立学校	2,197
	小 計	21,479
団 体	団体貸出	512
	県立病院貸出	1,200
	読書会文庫	1,220
	小 計	2,932
貸 出 総 数		610,759

○県外相互貸借（平成28年度）

		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	406	386		8	800
	冊数	692	525		8	1,225
借受	件数	72	112	6	3	193
	冊数	93	142	10	3	248

〇月別利用状況 (平成28年度)

〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予 約 ・ リ ク エ ス ト		参 考 質 問							
		月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案 内	月計	日平均	
4 月	25	293	12	13,901	515	48,881	1,955	1,936	77	87	32	5	14	834	972	39	
5 月	25	334	13	14,041	562	49,957	1,998	1,933	77	97	37	4	14	886	1,038	42	
6 月	25	302	12	13,766	551	48,723	1,949	1,929	77	86	37	5	12	837	977	39	
7 月	26	510	20	16,083	619	57,070	2,195	2,211	85	97	38	4	12	1,027	1,178	45	
8 月	26	456	18	15,720	605	55,254	2,125	1,818	70	85	33	1	6	1,066	1,191	46	
9 月	25	291	12	13,864	555	49,107	1,964	1,656	66	61	26	5	12	846	950	38	
10月	25	289	12	13,851	554	50,295	2,012	1,798	72	65	44	1	10	842	962	38	
11月	25	277	11	13,089	524	46,738	1,870	1,748	70	74	24	4	11	773	886	35	
12月	23	191	8	11,552	502	43,018	1,870	1,637	71	44	23	13	11	724	815	35	
1 月	21	255	12	11,122	530	43,184	2,056	1,626	77	47	34	9	7	729	826	39	
2 月	16	236	15	11,046	690	39,363	2,460	1,340	84	31	27	6	7	593	664	42	
3 月	26	253	10	15,652	602	54,758	2,106	2,043	79	61	29	3	14	820	927	36	
合計	288	3,687		163,687		586,348		21,675		835	384	60	130	9,977	11,386		
平均	24	307	13	13,641	568	48,862	2,036	1,806	75	70	32	5	11	831	949	40	

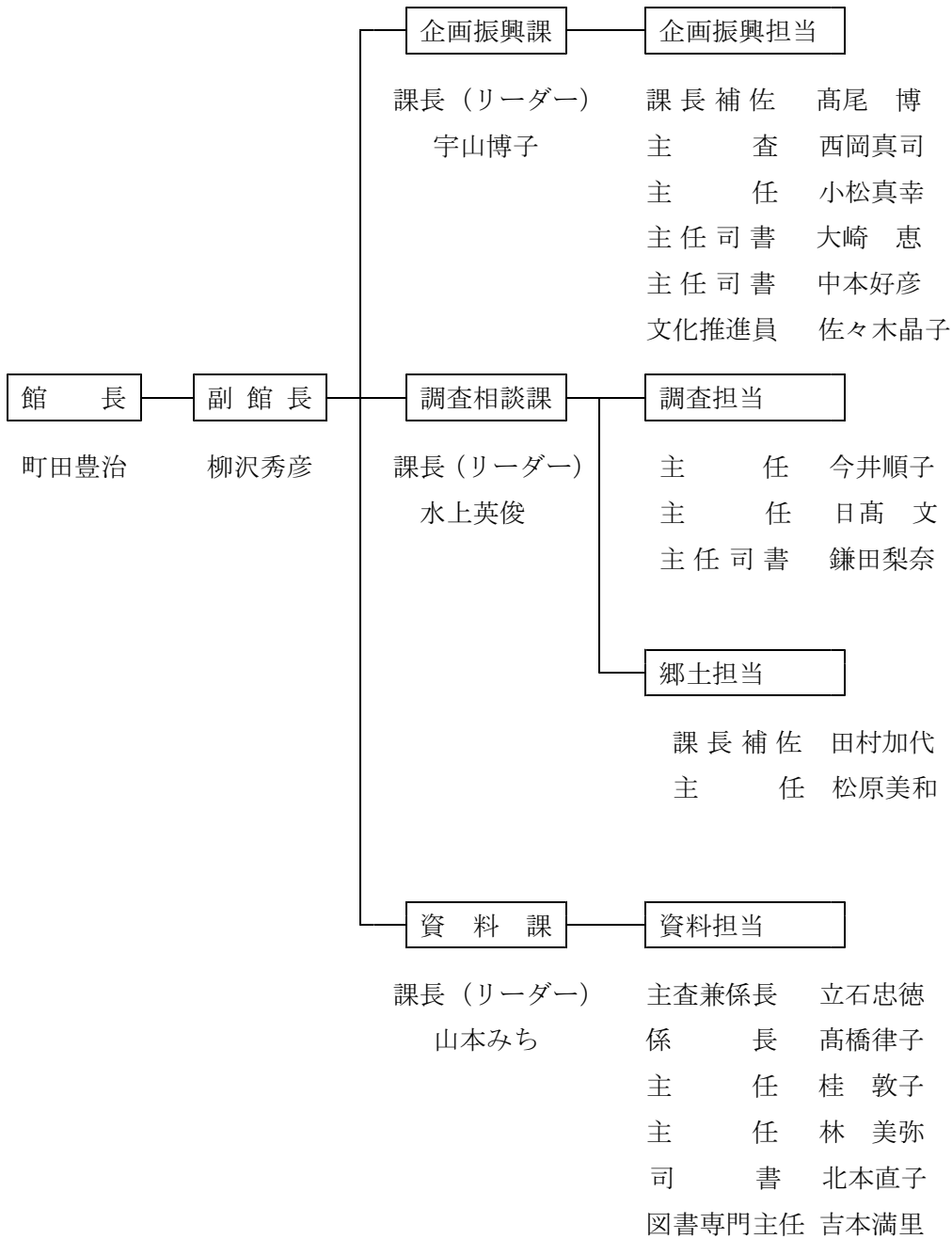
IV 管 理

1 組織機構・職員（平成29年5月現在）

館長の諮問等に応ずる機関

徳島県立図書館協議会

（委員 10 人）



2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (㎡)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室（整理作業室）	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフラウンジ	60
カウンター	55	集会室（大）	122
こどもの本コーナー	566	集会室（小）	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース>	[693]
ロッカーコーナー	69	機械室(5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース>	[1,843]	ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434		
館外書庫	349	<その他>	[975]
貴重書庫	60	1階エントランス	225
* 書庫は積層式になっているため、実質		その他	750
3,626㎡ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー 15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。

平成27年9月18日

文化の森開園25周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を6館共通テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが思い描いたヒト」、「アニメその歴史と未来」展を開催する。

4 歴代館長

就任年月日					館長		館長事務取扱			
大正	5	年	7	月	26	日	岩瀬	龜之進	県内務部長	広瀬直幹
大正	5	年	11	月	6	日			県内務部長	龜井光政
大正	6	年	3	月	31	日			県学務課長	林恒四郎
大正	6	年	10	月	10	日			県学務課長	確野千太郎
大正	10	年	3	月	17	日			司書	岩瀬龜之進
大正	10	年	3	月	31	日				
大正	13	年	12	月	6	日			県学務課長	鈴木省吾
大正	13	年	12	月	20	日			県内務部長	小島庄三
大正	14	年	1	月	9	日			県学務課長	松栖善一郎
大正	15	年	8	月	26	日			県社会教育主事	栖崎三善
昭和	2	年	2	月	14	日	坂今	本田	章好	三太
昭和	13	年	9	月	22	日				
昭和	19	年	3	月	22	日			県青少年教育課長	三好菊夫
昭和	19	年	4	月	25	日			県青年教育課長	沖田武雄
昭和	19	年	6	月	6	日	大岡	谷島	幹	男雄
昭和	20	年	4	月	26	日	原	田	幹	武雄
昭和	22	年	8	月	31	日	蒲	池	武正	信雄
昭和	24	年	5	月	3	日	藤	居	正信	浩雄
昭和	37	年	4	月	1	日	上	原	浩俊	泰一
昭和	38	年	4	月	1	日	竹	田	泰静	廣光
昭和	44	年	4	月	1	日	喜	井	静廣	俊夫
昭和	50	年	4	月	1	日	高	堂	俊健	二司
昭和	52	年	4	月	1	日	石	藤		裕之
昭和	54	年	4	月	1	日	近	佐		巖正
昭和	56	年	4	月	1	日	岩			正二
昭和	58	年	4	月	1	日	岸			宏昭
昭和	61	年	4	月	1	日	芝			治清
昭和	63	年	4	月	1	日	山	下		聰春
平成	2	年	4	月	1	日	日	野	正博	
平成	5	年	4	月	1	日	中	川		
平成	7	年	4	月	1	日	武	市		
平成	8	年	4	月	1	日	米	澤		
平成	10	年	4	月	1	日	大	平	靖明	
平成	11	年	4	月	1	日	小	田	隆啓	
平成	13	年	4	月	1	日	福	島		
平成	14	年	4	月	1	日	松	平		
平成	15	年	4	月	1	日	今	崎		
平成	16	年	4	月	1	日	桐	本	義憲	
平成	17	年	4	月	1	日	早	見		
平成	18	年	4	月	1	日				
平成	19	年	4	月	1	日	桑	村		近代美術館長 阿部修三
平成	19	年	5	月	1	日	上	野		
平成	20	年	4	月	1	日	中	井	秀忠	誠樹
平成	21	年	4	月	1	日	林		善志	良章
平成	22	年	4	月	1	日	青	木		行学
平成	24	年	4	月	1	日	吉	成		
平成	25	年	4	月	1	日				
平成	27	年	4	月	1	日				二十一世紀館長 中瀬敬一
平成	27	年	5	月	1	日	楨	納	正	
平成	28	年	4	月	1	日	松	浦	豊	明博
平成	29	年	4	月	1	日	町	田		治

V 平成28年度行事記録

1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月27日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	28年度役員、読書振興大会、理事会・総会について	10
5月5日	こどもの日のおはなし会 (文化の森こどもの日フェスティバル)	児童担当	絵本の読み聞かせなど	37
5月13日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	27年度事業報告・決算、28年度事業計画・予算	25
6月9日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師： 高浪 郁子 氏 乾 加代子 氏 阿部 薫 氏	講義 「一人ひとりのための図書館をめざして」 「手話入門」	52
6月12日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	18
6月17日	阿波学会理事会 評議員会	理事 評議員	27年度決算、28年度計画について	理 9 評14
6月22日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事 —	27年度決算、28年度事業計画、県下各地の読書推進報告	理25 総39
7月6日	阿波学会第1回編集委員会	編集委員	紀要原稿申請状況等	13
7月15日	第2回徳島県図書館職員研修会	講師： 鳥澤 孝之 氏 徳野 隆 氏	紹介 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」 講義 「地域資料の保存と活用について」	54
7月22日	夏休み出前講座 「よごれた水のゆくえ」	県水・環境課職員ほか	小学3年～6年対象 污水处理について学ぶ	19
8月21日	夏のおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	おはなし会ボランティアスタッフ	紙しばいや絵本の読み聞かせなど	21
8月21日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	小学3年生以上対象 図書館の事務室・書庫などふだん入れない場所を案内	17
8月31日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体を選考	7
9月4日	絵本読み聞かせ講習会	アーサー・ビナード 氏	講演「ことばメガネをかけかえると」	82

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
9月4日	おはなし会スタッフミーティング			11
9月9日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師： 仁上 幸治 氏	講義・演習 「図書館員のためのPR 実践講座－逆風の中で味 方を増やすコツ」	35
9月30日	阿波学会第2回編集委員会	編集委員	紀要原稿査読担当の割り 振り	12
9月30日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	28年度図書館大会につい て など	6
10月19日	阿波学会第3回編集委員会	編集委員	紀要原稿の検討	12
11月3日	秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り)	県立図書館おは なし会ボランテ ィアスタッフ	絵本の読み聞かせをはじ め、楽しいおはなしなど	39
11月3日	しおりをつくろう (文化の森大秋祭り!!)	イベント・広報 委員会	型紙に色えんぴつで絵を 描いて自分だけのしおり を作成	64
11月3日	おとなのための図書館ツアー (文化の森大秋祭り!!)	イベント・広報 委員会	普段入れない書庫などを 案内	14
11月6日	徳島県読書振興大会 (小松島市大会) 小松島市ミリカホール	講師： 宮 泰弘 氏 他	大会テーマ 「豊かなことばと生きる 力を養う読書活動」	250
11月22日	阿波学会第4回編集委員会	編集委員	紀要原稿の最終確認	9
12月3日	クリスマスおはなし会	四国大学学生グ ループ	絵本の読み聞かせ、ブッ クトーク、バルーンア ートなど	61
12月9日 ～ 12月15日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場：近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関 係資料・識字関係資料を 展示	212
12月13日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	27年度事業実績について 28年度事業の実施状況に ついて 他	17
1月11日 1月18日 1月20日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職 員ほか	新システムの研修 情報交換	52
2月10日	阿波学会第5回編集委員会	編集委員	次年度の編集委員会の体 制について	12
2月11日	図書館100周年記念書道パフ ォーマンス(文化の森ウィンター フェスティバル)	四国大学文学部 書道文化学科 「かぜまーる」	「一期一会」ほか3作品 を音楽にあわせて制作	約 120

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
2月11日	ふゆのおはなし会(文化の森ウィ ンターフェスティバル)	児童担当	わらべうた、紙芝居、絵 本の読み聞かせなど	40
2月24日	徳島県図書館大会 テーマ： 「新しい図書館づくりを考 える」	講師： 山本 昭和氏 講師： 高田 博子氏	講演： 「図書館運営の潮流につ いて」 報告： 「鳴門市立図書館の実 践」	61
3月5日	平成27・28年度鳴門市総合学術 調査報告会 於：鳴門市ドイツ館			52
3月16日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	来年度の研修会について	7

館長と楽しむ音楽鑑賞会（全15回）

図書館所蔵のCDを館長と鑑賞

○ 共 催 集 会 行 事 まなびの森講演会（年8回：放送大学徳島学習センターと共催）

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
5月14日	藍染めの世界へよう こそ！	佐藤 高則 氏	阿波藍の歴史から藍染めの技法や作品 まで、藍染め全般について	40
6月18日	本当は怖い?! 歯周病 って、どんな病気？	成石 浩司 氏	歯周病はどのような病気なのか、そ の治療法と予防法について	52
7月16日	いじめを未然に防 ぐ、学校予防教育と は	内田 香奈子 氏	最新の心理学や脳科学の知見をベー スに開発された学校予防教育の理論、 実施例、そして教育効果について	26
9月3日	南海トラフ巨大地震 に備える	渡邊 茂 氏	地震対策の第一歩である、「命を守る」 「怪我をしない」ための環境づくりや 地震が起きた時の適切な対応について	61
10月29日	持続可能な社会の形 成に向けて 一消費者 としてできること	坂本 有芳 氏	自然環境や社会環境をより良いもの とするため、私たち消費者に求められ る取り組みについて	31
11月19日	地球温暖化防止のた めの森林資源の利活 用	中村 嘉利 氏	地球温暖化防止のためだけでなく、 活力ある森林資源保全のためにも、森 林資源（スギ）を利活用する方法とそ れに伴う新規産業の創出について	31
12月10日	健康寿命を延ばそう	赤枝 尚美 氏	健康寿命の延伸にとって栄養と並ん で重要な健康運動、口腔の健康につい て	49
2月25日	富岡城（牛岐城）の 研究	澤田 建治 氏	阿波九城のひとつ、阿南の富岡城の 歴史について	75

計 365

展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
4月26日 ～ 6月5日	「読んでみん？みんなのすすめる本ーとくしまの子どものためのブックリスト100 コメント・POP受賞作品展ー」	平成27年に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示。
6月7日 ～ 7月3日	「徳島読書人が選ぶ最高の31冊2016」（徳島大学附属図書館との連携展示）	大学附属図書館との連携推進の一環として「徳島大学総合科学部「徳島における読書コミュニケーション文化育成プロジェクト」」により作成された冊子『徳島読書人が選ぶ最高の31冊』で紹介された推薦文と推薦図書を表示。
7月5日 ～ 8月21日	連携展示「阿波の道を歩く 芭蕉をめざした男・酒井弥蔵×現代アーティスト・大久保英治」	徳島県の文化の創造的再発見事業の連携展示。図書館所蔵の絵地図、和書などと共に大久保英治のコラージュなどを展示。
8月23日 ～ 10月2日	「図書委員が選ぶ、とくしまの本」（徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示）	県内高等学校の図書委員が、とくしまについて考え、感動した本や、お薦めめの本を紹介。
10月4日 ～ 11月27日	<本>のいろいろ	図書館で所蔵しているさまざまな形態の本を紹介するとともに、<本>の成り立ちや用語解説等をパネル展示。
11月29日 ～ 2017年1月29日	<雑誌>でたどる暮らし 60年代から90年代の衣食住をさがして	60年代の高度成長期から90年代のバブル崩壊まで時代とともに変化してきた衣食住を、雑誌の記事や写真を通して紹介。
2月10日 ～ 4月23日	なつかしの図書館写真展ー県立図書館の100年（県立図書館百周年企画展示）	大正から昭和・平成にかけての県立図書館の外観や閲覧室の写真などを展示。開館当初からの蔵書や、昔の図書館用品も併せて展示。

他機関主催展示

期 間	展示名（主催）	展 示 内 容	場 所
7/12～ 7/22	污水处理パネル展 （徳島県水・環境課）	出前講座「よごれた水のゆくえ」の開催にあわせ污水处理に関するパネルを展示。	3階展示ロビー
7/24～ 9/4	夏の健康講座 （徳島県薬剤師会小松島支部）	薬剤師が選んだ健康に関する図書や医療関係団体制作のパンフレット等を展示	2階一般資料コーナー
9/10～ 9/16	自殺予防啓発パネル展 （徳島保健所）	9月の「自殺予防週間」に関連して、自殺予防に関する啓発パネルを展示。	1階南側
10/4～ 10/30	臓器移植普及啓発展 （県保健福祉部医療政策課、徳島県臓器移植コーディネーター）	10月の「臓器移植普及推進月間」に合わせて、臓器移植に関する冊子・図書及びポスター等を展示。	1階南側 2階一般資料コーナー

平成28年度 ミニ展示

一般資料コーナー

期間	テーマ
4/5～7/10	本屋大賞
4/12～5/8	新年度を「新書」で！
4/22～5/31	お弁当
5/10～6/12	育てよう植物～盆栽・ガーデニング編
6/1～6/30	戦国
6/14～7/24	旅に出よう！～国内編～
7/1～7/31	外へ！
7/12～12/4	VS候補作（直木賞）
7/13～8/2	追悼・永六輔
7/26～9/4	もののけ
7/26～8/2	追悼・大橋巨泉
7/28～8/21	雑誌「暮らしの手帖」創刊号から第5号まで
8/1～8/31	リオへの軌跡
8/3～8/18	追悼・千代の富士（九重親方）
9/1～9/30	城

期間	テーマ
9/6～10/10	クラシック音楽を楽しもう
10/12～11/20	ストップ！糖尿病
11/22～12/11	美術館へ出かけよう！
12/6～4/16	川端康成文学賞・泉鏡花文学賞
12/9～12/28	年末年始
12/13～1/29	60年代から90年代の衣食住をさがして
1/5～1/24	新年を「新書」で！
2/10～3/7	追悼・三浦朱門
2/10～3/12	工芸
2/10～3/15	ようこそ！ミュージカルの世界へ
3/8～3/31	追悼・林京子
3/14～4/23	さくら
3/17～4/9	新年度を「新書」で！

※「〇〇賞受賞作を読みつくそう」のリーフレットを配布

郷土資料コーナー

期間	テーマ
5/20～7/13	風を起こす女性たち 活躍する阿波の女（ひと）
7/14～8/21	本でたどるむかしの旅
8/2～8/28	とくしまに出合う旅（ブラウジングコーナー）
8/31～10/10	災害に備える（郷土・ブラウジングコーナー）
10/12～12/21	徳島の会社2016
12/22～1/29	とくしま・おいしいおかず
2/10～4/19	活躍する徳島県人 2016年の出版物より

しごと応援コーナー

期間	テーマ
3/23～5/18	ビジネスに役立つ「調べものナビ」
5/20～7/18	6次産業化の本
7/20～9/19	ビジネス書大賞
9/22～10/19	からだを動かそう
10/21～11/16	けんこうー健康と医療の雑誌
11/18～1/18	C S R 報告書
1/20～3/15	染めの中に見る青
3/17～6/4	働き方を見直そう

こどもの本コーナー

期間	月テーマ
4月	なつかしの絵本
5月	春のおでかけ
6月	あめの本
7月	うみの本
8月	やまの本
9月	おじいちゃんとおばあちゃんの本
10月	ハロウィンの本
11月	おいしい秋
12月	クリスマス
1月	とりの本
2月	おふろの本
3月	ともだち100人できるかな

期間	テーマ
4/1～4/24	入園・入学・新学期の本
4/26～6/5	「POP・コメント展」受賞作品関連本
4/26～6/7	地震・防災の本
6/7～8/17	「あわぎんこども応援債」寄贈図書①
6/14～6/28	新着絵本展（1月～6月）

期間	テーマ
7/1～7/7	七夕の絵本と紙芝居
7/8～9/19	恐竜の本（博物館企画・恐竜展にあわせて）
7/22～8/31	戦争と平和の本
7/22～8/31	自由研究の本
7/22～9/14	水と環境問題の本
8/20～9/14	「あわぎんこども応援債」寄贈図書②
9/1～10/1	山と森の本
10/1～10/31	おじいちゃんとおばあちゃんの本
11/1～11/10	ハロウィンの本
11/10～12/25	クリスマスの本
12/14～12/16	生命保険協会寄贈図書
12/17～12/28	「あわぎんこども応援債」寄贈図書③
12/27～1/22	お正月
1/5～1/29	バリアフリー絵本（県立図書館所蔵分）
1/24～1/29	鬼の本
2/10～3/2	ひな祭りの本
2/17～4/2	佐藤さとの本
2/19～	ブルーナーの本

＜データで見る徳島県立図書館の現状＞

年度	H24	H25	H26	H27	H28	
開館日数(日)	288	287	286	288	288	
入館者数(人)	430,709	433,917	431,537	447,338	430,379	* 累計13,237,456人 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数(人)	3,768	3,751	3,478	3,806	3,687	* 累計154,176人 (有効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	684,626	630,848	593,299	610,566	586,348	
協力貸出冊数(冊)	20,081	20,065	20,157	19,996	19,282	* 市町村立図書館等 への貸出(図書館未設 置は教育委員会へ)
高等学校・支援学校図 館協力貸出冊数(冊)	2,611 (23校)	2,331 (23校)	2,229 (22校)	2,650 (22校)	2,197 (22校)	* 県立学校図書館へ の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	1,455 (1,294)	1,453 (1,231)	1,600 (1,353)	1,641 (1,415)	1473 (1,225)	
リクエスト件数	20,777	22,292	21,577	22,213	21,675	
レファレンス件数	11,983	14,023	13,151	12,679	11,386	
蔵書冊数(冊)	1,164,014	1,175,434	1,182,650	1,194,150	1,205,128	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
購入図書(冊)	11,870	13,843	13,305	12,701	12,694	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
雑誌購入種数	323	332	338	336	331	* 官報1を含む
新聞購入種数	34	39	37	37	37	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	32,305 26,000	35,305 29,000	35,305 29,000	37,155 30,855	37,155 30,855	
人口1人あたり図書購 入費(円)	33.50	37.62	37.90	40.65	41.43	
人口1人あたり貸出数 (冊)	0.88	0.82	0.78	0.80	0.79	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.50	1.54	1.55	1.57	1.62	
県人口(人)	776,177	770,831	765,247	759,047	744,837	* 県人口は、「徳島県 推計人口」当該年度4 月1日時点の推定人口

徳島県内市町村立図書館一覧

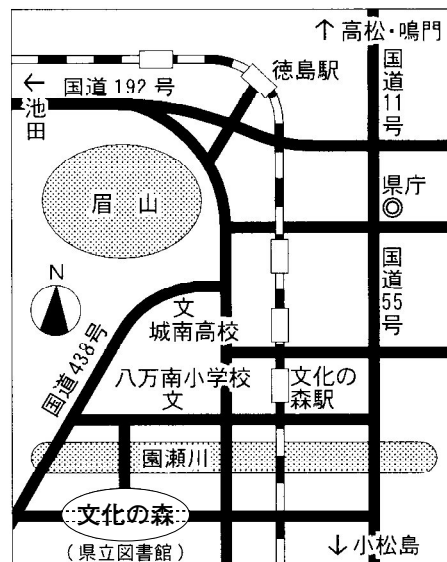
(横断検索可能館)



	図 書 館 名	住 所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜
2	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～19:00	火曜・第1金曜
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	10:00～18:00	月曜 祝日(5/5, 11/3除く)
4	阿南市立 阿南図書館	〒774-0011 阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
8	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日 月末
9	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
10	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
11	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
12	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00(10～3月)	月曜・月末
13	美馬市立 脇町図書館	〒779-3610 美馬市脇町大字脇町154-1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
14	三好市 中央図書館	〒778-0002 三好市池田町マチ2183番地	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
15	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00～19:00	火曜
16	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30～18:00	月曜・月末
17	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30～17:00	土曜・日曜・祝日
18	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30～18:00 土 9:30～17:00	日曜・祝日(5/4除く)
19	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日
20	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
21	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
22	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
23	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
24	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
25	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
26	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
27	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00(4-9月) 10:00～17:30(10-3月)	月曜・火曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- JR徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約25分）
- JR牟岐線文化の森駅から／徒歩（約35分） 「文化の森駅東」バス停からバス利用（7分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前9時30分から午後5時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標（第3期） ～県立図書館サービスの新たな展開～

平成28年3月

徳島県立図書館は、これまで2回にわたり「徳島県立図書館サービス向上目標」を策定し、設定した目標の達成に向け業務を進めてまいりました。

この度、これまでの活動を踏まえた上で、今後5年間における県立図書館が目指すべき目標を設定した「新たな計画」を策定しました。この計画に基づき、県立図書館が社会の変化に的確に対応しながら、県民ニーズに応えられるよう「図書館サービス」を提供してまいりたいと考えています。

1. 運営方針

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

2. 行動指針

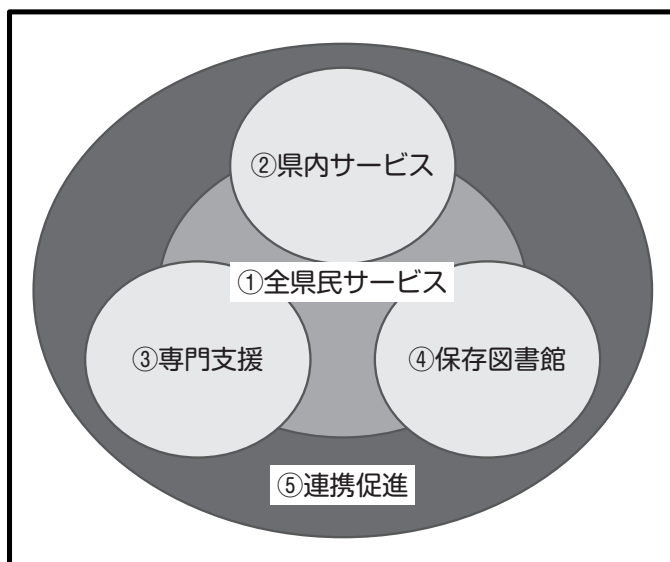
『一人でも多くの人へ “図書館サービス” の提供を』

3. 基本目標

（1）5つの目標

- ① 全県民へのサービス展開
- ② 県内図書館サービスの向上
- ③ 専門情報支援サービスの提供
- ④ 県内資料・情報の保存図書館
- ⑤ 様々な機関との連携促進

（2）展開イメージ



『一人でも
多くの人へ
“図書館
サービス” の
提供を』

(3) 個別事項

① 全県民へのサービス展開

県立図書館は、県民が必要とする資料・情報が提供できる図書館として、仕事探しなどの課題解決への支援や子どもを取り巻く読書環境の充実、図書館利用に障壁を感じる多様な人々が共生する社会の実現に向けた環境整備を進めます。

a ライフステージに沿った資料収集とサービス提供

仕事・子育て・健康など、県民の暮らしの中で関心の高いテーマに関する資料を積極的に収集するとともに、県民が抱える課題解決に役立つ展示やコーナーの設置など、県民のライフステージに沿ったサービスを提供します。

b 子どもの読書活動の推進

幅広い児童書の収集や求める資料に出会える場の構築、豊富な保存資料と県内図書館のネットワークを活用したサービスの展開などにより、子どもたちに幅広い読書の機会が提供できる体制づくりを進めます。また、子どもの読書を支援する立場にある保護者を含めた大人を対象とした読み聞かせや調べ学習に役立つ資料や情報も提供します。

c 図書館利用に障壁を感じる人を一人でも少なくする取り組み

障がいがある人や高齢者など、何らかの理由により図書館を利用しにくいと感じる人に対する理解を職員が深めるとともに、大活字本やデイジー図書等（*）の収集や分かりやすい館内表示などによる環境改善に努め、全ての県民に開かれた図書館を目指します。

こどもの本コーナー



デイジー図書等の提供



数値目標

平成26年度実績

平成32年度目標

●資料紹介展示回数

41回 →

50回

●デイジー図書等の所蔵点数(累計)

286点 →

400点

* デイジー図書等…デイジー図書は本の朗読を録音したメディアで、目次から聞きたい箇所に飛んだり、しおりをつけたりできる。音声のみのデイジー図書とパソコン等で音声と画像を同時に再生できるマルチメディアデイジー図書を合わせて「デイジー図書等」と表記している。

②県内図書館サービスの向上

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、高度化する情報社会への対応や職員研修の充実などにより、県内図書館サービスの向上に努めます。

a 市町村立図書館への支援

市町村立図書館への協力貸出やレファレンスを充実するとともに、市町村立図書館と連携しながら、近年増加傾向にある調べ学習を県内学校図書館に支援するサポートサービスを開始します。

b 図書館システムの充実

I C Tの進展に伴い、スマートフォンなどの携帯端末の利用に対応したサービスへのニーズが高まるなど、高度な技術を活用した情報化への対応が求められています。このため、現行のとくしまネットワーク図書館システムやホームページを時期をみながら見直すなど、県民の利便性の向上に努めます。

c 図書館職員の研修

図書館業務を取り巻く環境の変化に伴い、職員に求められる技術が多様かつ複雑になっていることから、スキルアップのための研修を充実するなど、県内図書館界の技術力向上に努めます。

図書館職員等研修会



県内の物流を支える



数値目標

平成26年度実績

平成32年度目標

●県内公共図書館総貸出冊数

3, 872, 869冊

→ 4, 200, 000冊

●研修参加者総数（累計）

440人

→ 2, 000人

③専門情報支援サービスの提供

県立図書館は、豊富な所蔵資料と資料・検索技術に精通した職員の専門性を活かして、レファレンスサービス（本の検索、調べもの手伝い、研究に必要な文献調査などを行うこと。）を充実するなど、県内における調査・研究の情報拠点としての機能向上に努めます。

a 課題解決・行政支援

県民の暮らしや仕事に役立つ資料や情報、あるいは自らが地域政策に関わりやすくするための資料を適時提供します。また、県政情報をはじめとした様々な公共機関の情報提供を行うとともに、行政への各種調査・相談サービスを通して、地域が抱える課題の解決に向けた支援を行います。

b 情報検索ツールの充実

県民からより一層利用される図書館を目指して、レファレンス事例データの登録や時宜に応じたパスファインダー（＊）を作成するなど、図書館資料や情報に県民自らアクセスできる環境整備を進めます。

c 県外図書館等との協力体制

県外の公共図書館・大学図書館及び国立国会図書館とのネットワーク拠点として、県民が求める資料を迅速かつ的確に提供できる体制づくりを目指します。

「調べものナビ」（パスファインダー）



参考カウンターでのレファレンス



数値目標

平成26年度実績

平成32年度目標

●レファレンス件数

13,151件 →

16,000件

●パスファインダー作成件数

21件 →

50件

* パスファインダー＝特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット。

④ 県内資料・情報の保存図書館

県立図書館は、郷土資料の充実や所蔵資料のデジタル化による利便性の向上、図書館資料の保存・整備に努めながら、将来の利用を見据えた県の資料センターとしての機能を高めます。

a 郷土資料の収集

徳島県や県出身者に関する資料や地域の行政資料などを網羅的に収集し、後世まで伝えることのできる体制を整えます。また、Web 情報のみで公開される逐次刊行物のプリントアウトやアクセス確保などにも取り組みます。

b 郷土レファレンスの充実

郷土に関する調査相談の事例、地域の事項や人物のデータベースを充実し、これらを Web 上に公開するなどにより、県民の調査研究を支援します。

c 子どもの本の資料センター

子どもの読書支援や子育て支援のために、子どもの本を収集・整備した機関「子どもの本の資料センター」に向けた取り組みを進めます。

閲覧室



書庫ツアー



数値目標

●郷土レファレンス公開件数(累計)

●児童書の貸出冊数

平成26年度実績

668件

179,638冊

平成32年度目標

1000件

185,000冊

⑤ 様々な機関との連携促進

県立図書館は、文化の森各館との連携はもとより、県内の行政機関・大学をはじめ様々な機関との連携をより一層深めることにより、これまで以上に幅広く事業展開ができるように努めます。

a 文化の森における連携

文化の森各館（博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館）との連携を一層強化し、魅力ある企画を共同で実施するとともに、広報活動等の強化も図ります。

b 行政機関・大学との連携

行政機関や大学との連携をさらに深め、行政情報の開示や共同講座の開催などによるネットワークの強化に努めます。

〈四国遍路〉の世界 展示



徳島大学生との意見交換会



兵庫県立図書館との交換講座



数値目標

平成26年度実績

平成32年度目標

●連携事業総件数（累計）

32件

→

200件

徳島県立図書館 年 報 平成 2 9 年度版

発行日 平成 2 9 年 6 月 1 日

発行人 〒 770-8070
徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
徳島県立図書館
館長 町田 豊治
TEL (088) 668-3500 (代)
FAX (088) 668-6904
